



尾張津島

# 秋まつり

●7日 津島山車一斉総車切



●7日 神守山車からくり披露



●7日 石採祭車競演



●7日 津島神社奉納

信長の台所 津島の祭人おひろめ。

10.6 **土** 10.7 **日**



10月6日(土)

- ◆ 子供獅子 ◆ 津島山車集合 居森社(向島の山車)
- 大土社(今市場の山車)
- 市神社(七切の山車)

9月30日(日)

津島神社奉納 小笠原流弓馬術奉納の儀

交通アクセス ※会場へは、公共交通機関をご利用ください。

- 名鉄電車「名鉄名古屋駅」より約30分「津島駅」下車
- JR-近鉄「弥富駅」乗り換え名鉄電車で約10分「津島駅」下車
- 東名阪道「弥富IC」より国道155号線で約15分
- 東海北陸道「尾西IC」より国道155号線で約35分

10月7日(日)

- ◆ 神守山車からくり披露
- ◆ 津島山車からくり・車切披露
- ◆ 津島山車一斉総車切
- ◆ 石採祭車競演
- 神楽
- 唐白町石採祭車

津島神社奉納

山車からくり 石採祭車 武道大会



※天候等により中止又は変更になる場合もあります

10月7日(日)

尾張津島秋まつり

# 祭事

山車からくり津島囃子。  
鳴り渡る鉦太鼓。

尾張津島の二大祭礼は天王祭と秋まつりです。秋まつりは、正徳元年(1711)に津島神社の末社・市神社の祭礼で傘鉦を出したことに始まり、各町は山車風流を競い合いました。秋天下、華麗な山車が町なかを巡行し、からくり人形の妙技を披露します。山車の前方を持ち上げ回転させる勇壮な「車切」も必見です。さらに太鼓・鉦を大音響で打ち鳴らす石採祭車、薄暮に数多の提灯が灯された山車など、秋の一日、江戸文化を満喫できます。

## からくり披露 神守山車

からくり披露

とき/午前10時30分頃~ところ/神守一里塚前  
とき/午後2時30分頃~ところ/憶感神社



### 神守山車

穂蔵神社・憶感神社(神守町)の祭礼に引かれたもので、文化年間(1804~1818)頃に始まったと言われます。



## 石採祭車競演

とき/午後0:40頃~ところ/津島駅前(北部車・中部車・南部車)



石採祭車順路 各町内(午前10:00頃~) → 津島駅前 到着(午後0:00頃)

### 石採祭車

旧津島の北部・中部・南部の3車は大正4年頃から、唐臼町車については昭和20年代頃から始まり、鉦・太鼓を打ちながら町を練り歩きます。  
※雨天時、天幕が変わる場合があります。



#### 北部車

天幕は白地に神武天王の頃に金鶏がとまっている有様を金色糸で縫ってある。

#### 中部車

天幕は青緑地に金糸糸糸で竹と虎が縫ってある。

#### 南部車

天幕は西陣織で須佐之男命が八頭大蛇退治の有様を現している。

## からくり車切披露 津島山車

からくり車切披露

とき/午後1:00頃~ところ/津島駅前



### 山車の起源

津島の山車は起源を異にする今市場、向島、七切、神守の山車群の四種類からなっています。大正15年10月津島神社が国幣小社に昇格したのを機にそれぞれ祭りに登場していた山車は翌年より同日に行われるようになり、現在は10月第一日曜日となりました。



津島山車順路 各町内 → 津島駅前到着(午後0:00頃~) → 津島駅前からくり。

### 向島の山車

居森社(いもりしゃ)の祭礼に引かれたもので、寛政年間(1789~1801)頃から整備されていたと言われる。

### 今市場の山車



#### 中之町車

唐子の文字書き

#### 馬場町車

大黒の打出の小槌(こづち)が割れて唐子が出て遊ぶ

#### 上之町車

唐子の飛行

#### 小中切車

住吉明神変して社殿となり又明神にもどる

### 津島神社奉納

#### 武道大会

午前9:00~午後3:00頃

「練成館」



中町車 林和靖(りんわせい)

上町車 関羽(かんう)

南町車 寿老人(じゅうろうじん)

# かぐら 神楽

神楽台の上に屋形を置き、その後方に美しく飾りつけた太鼓と付太鼓を載せ各町内で引き出され神楽太鼓が打ち鳴らされます。



津島駅前 **競演** (午後0:40頃～) → 市内練り歩き → 津島神社 **奉納** (午後2:30頃～) → 市内練り歩き (午後5:00頃～) → 各町内



## 唐臼町車

天幕は赤色に旧奥名藩主松平氏の家紋星梅鉢を白く染め抜いてある。  
10/7(日)午前中、唐臼神社周辺を練り歩く。



## 一斉総車切

午後7:00頃～ 天王通1交差点附近

(都合により、参加できない山車もあります。)

車切披露 (午後1:00頃～) → 天王通り (午後1:40頃～) → 津島神社 **からくり奉納** (午後3:00頃～) → 天王通1交差点附近 **一斉総車切** (午後7:00頃～) → 各町内

大土社(おおつちしゃ)の祭礼に引かれたもので、天明年間(1781～1789)以前に整備されていたと言われる。

**七切の山車** 市神社(いちがみしゃ)の祭礼に引かれたもので、正徳元年(1711)笹に提灯を付け傘鉾を出したのに始まったと言われる。



## ◆朝日町車

湯立神子(ゆだちみこ)



## ◆大中切車 (不参加)

翁(おきな)と唐子遊(からこあそび)



## ◆米之座車

神主が宝船に変わる



## ◆高屋敷車

狸々(しゅうじょう)の面をかぶり、鉦を打ち鳴らす。



## ◆布屋町車

蛭子(えびす)・大黒の舞



## ◆麩屋町車

湯取神子(ゆとりみこ)



## ◆池町車

唐子遊(からこあそび)



## ◆北町車

唐子遊(からこあそび)



## ◆小之座車 (不参加)

獅子舞と唐冠の太閤さん

10月6日(土)

# 津島山車集合

- 向島の山車  
午後3:00頃～居森社に集合し奉納  
午後5:30頃～神社南門にて車切
- 今市場の山車(奉納奉告祭)  
午後2:00頃～大土社に集合
- 七切の山車  
午後4:00頃～市神社に集合  
午後6:00頃～市神社にて提灯点灯



撮影：江坂昌己



こどもしし  
**子供獅子** ■とき/午後1:00～午後2:00  
■ところ/津島神社



子供獅子は、子どもたちがハッピーを着こみ、頭にはち巻き、手には獅子頭を持ち、「ワッショイ、チロリン」の掛け声も勇ましく、各町内を練り歩き、津島神社に詣でます。

## 10月7日(日) 津島駅～津島神社周辺 祭事及び山車等運行に伴う歩行者専用道路区間

※市内全域にて山車等の運行に伴い通行ができない場合がありますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。



●まつり当日は、混雑しますので、電車・バスをご利用ください。  
※天候等により中止又は時間変更になる場合もあります。

●あなたのゴミは、あなたのもの！ゴミは各自でお持ち帰りください。

9月30日(日)



おがさわらりゅう  
**小笠原流**  
きゅうばじゅつほうのうぎ  
**弓馬術奉納の儀**  
■とき/正午～ ■ところ/津島神社  
**津島神社奉納**  
墓目の儀・百々手式の弓引き。

## 国の重要文化財 堀田家住宅 有料



10月6日(土) 午前10:00～午後3:00 ■大人 300円  
10月7日(日) 午前10:00～午後3:00 ■小中学生100円

問い合わせ 津島市教育委員会 社会教育課 電話 0567-24-1111

## 10月7日(日) 神守地区 祭事及び山車運行に伴う混雑予想区間

